　○○○さん、長い療養生活の中でも、あなたはいつも笑顔をたやしませんでした。お見舞いに伺った時も、かえってこちらが元気づけられるくらいに闊達にふるまっておられました。

して、不慣れながら司会進行まで仰せつかりました。本当に似合いのカップルで、その後も互いを信頼しあって幸せに生きてこられたことは、

ご列席のどなたもがご存知の通りです。

そんな最愛の伴侶を失った○○の悲しみに

○○○さんが座っていたのです。当時は私もまだ独身でしたから、こんな素敵な彼女を、○○の奴、どこで見つけてきたんだ、と内心うらやましく思ったものです。

お二人の結婚式では、新郎新婦の共通の友人と

　私は、○○○○君と同じ職場で五年間一緒に

仕事をした同僚です。彼が独身の頃からの付き合いで、スキーが共通の趣味ということもあり、

冬場は休日のたびに一緒にスキーに行ったものです。そんなある日、彼のクルマの助手席に、

そのあなたのご容態が急変し、こんなに突然、お別れが訪れるとは予想もしていませんでした。

本当に残念でなりません。ことに、まだ中学生のお子さんお二人を残して旅立たれるのは、さぞかしお心残りであったろうと思います。

弔　辞

丸愛　太郎

○○○○年○月○日

友人代表

対して、いまは慰める言葉も見つけられないのが、正直なところです。また、一人娘に先立たれた○○○さんのご両親はじめ、ご親族の皆さまのご心痛もいかばかりのものかと拝察いたします。

○○には、○○○さんが残してくれた

○○ちゃん、○○君という大事な子どもたちをこれから立派に育てていく大役が残されました。皆さまの温かいご理解とご助力があれば、きっとこの悲しみを乗り越えて、父親としての役割を立派に果たしていってくれるものと信じています。

はありません。

心からご冥福をお祈りいたします。

○○○さん、どうかこれからも○○と○○ちゃん、○○君を天国から見守ってあげてください。病床の中でも絶えることのなかったあなたの優しい笑顔の思い出は、これからも変わることなく、残された者の大切な宝物として失われること